

将来のために行政が現在できること

「いま」 町行財政改革課 (25) 8013

市では、第2次高島市総合計画に定める「水と緑人のいきかう高島市」の実現に向けて、行財政改革に取り組んでいます。市役所自身が組織の再編や業務の改善、支出の見直しなどを実施して、行政の最適な姿を目指して変わってまいります。今回は、現在行っている行財政改革について紹介します。

高島市の現状

公共サービスが複雑
公共施設の維持費が多額
地方交付税の段階的縮減

行財政改革を推進するぞ！

財源の確保

公共サービスの効率化

市民の協働連携



目指す 将来

水と緑人のいきかう高島市

高島の「恵み」と「誇り」を最大化!!
「住みたい、住み続けたいまちの実現」

避けなければならない 将来

税収の減少
地域の担い手・働き手不足
医療費・社会保障費の増加

苦しい...



財政状況が悪化して、満足な公共サービスの提供ができなくなってしまう

これまでの行財政改革の主な取り組み

「高島市経営改革プラン」
(平成18年度～平成25年度)

「高島市行財政改革計画」
(平成26年度～令和元年度)

補助金制度の見直しや公共施設再編に向けた取り組みを進めるとともに、ふるさと納税のリニューアルやその後の取り組み強化、企業や大学等との連携協定の締結、遊休財産の売却処分などの成果を上げ、「高島市総合計画」の実現に向けてさまざまな取り組みを行ってまいりました。

ワンストップサービス窓口を始めました！

総合窓口支援システムを活用し、各種手続きをスムーズに処理する体制を整備しました。迅速かつ正確な行政サービスの提供と利便性の向上につながりました。

職員の適切な定員管理を行いました！

職員数の削減に取り組んだ結果、合併時に724人だった職員数は令和2年4月1日現在で504人となりました。(消防職員などを除く)

公共施設の再編を進めています！

「高島市公共施設等総合管理計画」、「高島市公共施設再編計画」令和6年度末までに公共施設の延床面積を10%削減」に基づき、令和元年度末には、延床面積比で4.57%削減しました。



再編によりリニューアルした今津東コミュニティセンター
琵琶湖周航の歌資料館を併設

第2期高島市行財政改革計画(令和2年度～令和6年度)を策定しました

環境の変化やスピードに対応するため、第1期計画の終期を1年前倒しして、令和2年3月に新たに「第2期高島市行財政改革計画」を策定しました。

また、計画に基づく取り組みを着実に推進するために、直近3か年を計画期間とする「行財政改革推進計画」を策定し、経過や効果を毎年度検証し早期に目標が達成できるように取り組んでいます。

ここでは、「行財政改革推進計画」の内容と、その具体的な事業について紹介します。



1 財政基盤の力を高める

更なる歳入の見直しと歳入確保の取り組みを推進し、新しい施策にも積極的に取り組める財政基盤を目指します。

歳入の確保

- 財産処分等の促進
- 受益者負担の適正化
- 自主財源の確保
- 公用車広告事業

高島市公用車広告事業を導入し、新たな財源を確保するとともに地域経済の活性化を図ります。



歳入の見直し

- 選択と集中の更なる徹底
- 公共施設の適正管理と再編
- 経営の健全化
- 特別会計の安定した運営
- 地方公営企業会計の経営基盤強化

2 職員の働き方の質を高める

業務の標準化や効率化を推進し、職員一人一人の能力と意欲の向上を目指します。

執行体制の見直し

- マネジメント体制の強化
- 人員体制の適正化
- 児童発達支援体制の見直し

障がい児支援の体制強化に向け、発達相談窓口と療育施設を併せた「児童発達支援センター」を開設しました。児童の発達支援に関する総合的な地域支援体制を構築します。



ICTを活用した業務改善

- 電子化の推進
- 業務プロセスの標準化
- 自立型の人材育成
- 職員の意識改革と能力開発

3 多様な主体との連携力を高める

これからの行政サービスの在り方を見つめ直し、多様な主体と役割分担しながらともに歩む市役所を目指します。

地域力の強化

- 市民主体の市政運営
- 地域住民の連携推進

集落座談会などで課題認識を共有するとともに、地域自治組織のあり方検討委員会の意見を踏まえ、地方自治の方向性を明確にして実践に結びつけます。



公民連携の推進

民間活力の効果的な導入

市の将来のためにこれからも変わりが続けていきます！

